

京都 職人仕事 第38回 事百科

ロボット研究者

談・萩田 紀博(56歳)



ロボットのイメージが変わる

府南部にある関西文化学術研究都市のATR(株)国際電気通信基礎技術研究所で働く人の大半は研究者です。しかも大学の研究者とは違って、職業研究者です。ここではユニークな実験や研究が行われています。

京都の研究に世界が注目

ロボットが作れそうです。今はパソコンや携帯を使って情報を得ていますが、それをロボットが、私たちに話しかける感覚で教えてくれたり、朝は起こしてくれたり、食卓まで物を運んでくれたりと、そんな日も近づいているのです。



生活に役立つネットワークロボットは、ロボットらしいロボットといえますが、もう一方では人間らしいロボットも生まれています。一月末から全国公開された映画『サロゲート』(ブルース・ウィリス主演)。サロ

ゲートとは身代わりのロボットですが、実は三年前、映画関係者たちがここに取材に来て、客員室長の石黒浩先生が開発した遠隔操作可能なアンドロイド(石黒先生をコピーしたロボット)にヒントを得て製作されたフィクションなのです。このように、世界が注目するロボットの研究開発が現在、京都で進んでいます。地元の方さんにも関心を持っていただけたらうれしいですね。

●なぜ、この道に?—コンピュータが見る、聞く、話す、考えるの研究をしていたら、その集大成としてロボットの研究者になつていました。

●一日の仕事時間は?—研究所にいるのは8時間から12時間。研究についての議論やメール対応であったという間に一日が終わります。

●これから仕事に就く若い人にアドバイス—仕事を一生懸命やることですね。それと、悩みを言える先輩や友人がいることかな。

はぎた・のりひろ/昭和29年秋田県生まれ。慶應義塾大学大学院工学研究科修了。日本電信電話公社(現NTT)入社、以来コミュニケーション科学などの研究に従事。平成13年よりATRに赴任、現在知能ロボティクス研究所長、ATRフェロー。



かんたん 京野菜クッキング 花菜



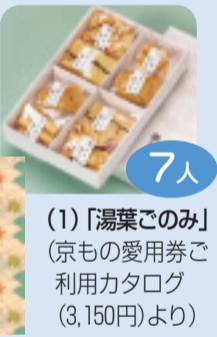
- 【材料 4人分】
●花菜...1/2パック
●えび(むきえび)...約60尾
●卵...4個
●ライスペーパー...12枚
●塩...少々(花菜用)
●サラダ油...大さじ1
④[塩、こしょう、砂糖...少々
酢...50cc 砂糖...30g]
⑤薄口しょうゆ...小さじ1
塩...少々

気取らず 手に持って 三色生春巻き

- 1 ゆがく・焼く
熱湯に塩と花菜を入れ、1分ほどゆがいて冷みにさらし、しっかり絞る。別の熱湯で、色が変わるまでえびをゆで、ザルにあげる。卵と④を混ぜ、フライパンに油をひき、軟らかめのいり卵にする。
2 巻く\*
ライスペーパーを1枚ずつ水に浸して軟らかくし、それぞれ花菜2~3本とえび5尾、いり卵を乗せて巻く。
3 たれをつくる
⑤を混ぜる。一味や豆板醤などを足して大人の味にアレンジも。

※一口メモ
ライスペーパーの中央よりやや手前に、彩りよく具を乗せて巻く。

イズdeプレゼント
平成○年度当初予算案
府議会に提案
はがきに「○」に入る数字と①郵便番号②住所③氏名④年齢⑤電話番号⑥興味を持たれた記事やご意見・ご感想を記入し、〒602-8570 府広報課「クイズ」係へ。締め切り3月10日(消印有効)。正解者の中から抽選。
※ホームページ(応募フォーム)、メール(広報課)でも応募可。
※個人情報、賞品の発送のみを使用します。(ご意見などは、府民総合案内・相談センターで対応する場合があります。)



(1)「湯葉ごのみ」(京もの愛用券ご利用カタログ(3,150円)より)